
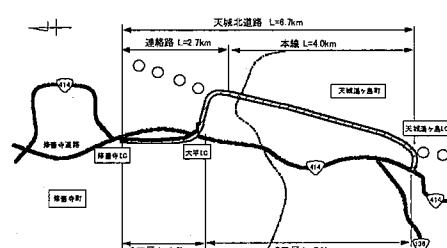


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	国道414号 伊豆縦貫自動車道 天城北道路	事業区分	高規格B	事業主体	国土交通省 中部地方整備局							
起終点	自：静岡県伊豆市修善寺 至：静岡県伊豆市矢熊	延長	6.7km									
事業概要 天城北道路は、高規格幹線道路「伊豆縦貫自動車道」の一部を構成し、伊豆半島部への高速サービスの提供及び交通集中による慢性的な交通混雑の緩和を図ることを目的とした事業である。												
H 6年度事業化	年度都市計画決定	H12年度用地着手	H14年度工事着手									
全体事業費	約570億円	事業進捗率	19%	供用済延長	1.6km							
計画交通量	20,300台/日											
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 2.0	総費用 (残事業)/事業全体 358/486億円 事業費：344/468億円 維持管理費：13/18億円	総便益 (残事業)/事業全体 709/934億円 走行時間短縮便益：601/798億円 走行費用減少便益：78/102億円 交通事故減少便益：30/35億円	基準年 平成20年								
感度分析の結果 ^(※2) 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.1(交通量+10%) B/C=1.7(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.8(事業費+10%) B/C=2.2(事業費-10%)												
事業の効果等 ^(※3) ・円滑なモビリティの確保（交通渋滞の緩和） ・個性ある地域の形成（観光地へのアクセス向上） ・安全で安心できるくらしの確保（緊急搬送時間の短縮） ・災害への備え（緊急輸送路の機能強化） <div style="text-align: right;">他8項目に該当</div>												
関係する地方公共団体等の意見 天城北道路は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、伊豆市で構成される「天城北道路及び伊豆市幹線道路網整備促進期成同盟会」より早期整備の要望を受けている												
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・国道136号、414号の重複する区間において、特に休日を中心に著しい渋滞が発生 ・伊豆地域の観光客数は減少傾向												
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成20年4月、修善寺IC～大平IC供用済み ・大平IC～天城湯ヶ島ICについて、用地買収を実施中												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成20年代後半、大平IC～天城湯ヶ島IC暫定2車線供用予定												
施設の構造や工法の変更等 ・道路縦断線形の見直し等により、約70億円のコスト縮減を予定												
対応方針	事業継続											
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる											
事業概要図												
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><th colspan="2">凡 例</th></tr> <tr><td>——</td><td>供用中</td></tr> <tr><td>■■■■</td><td>事業中</td></tr> <tr><td>▨▨▨▨</td><td>再評価箇所</td></tr> <tr><td>○○○○</td><td>調査中</td></tr> </table>	凡 例		——	供用中	■■■■	事業中	▨▨▨▨	再評価箇所	○○○○	調査中	
凡 例												
——	供用中											
■■■■	事業中											
▨▨▨▨	再評価箇所											
○○○○	調査中											

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。